

4. 国民健康・栄養調査パネル分析ワーキンググループ報告

- 研究分担者 西 信雄 (医薬基盤・健康・栄養研究所国際栄養情報センター センター長)
- 研究分担者 由田 克士 (大阪市立大学大学院生活科学研究科食・健康科学講座公衆栄養学 教授)
- 研究代表者 三浦 克之 (滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授)
- 研究協力者 中村美詠子 (浜松医科大学健康社会医学講座 准教授)
- 研究分担者 門田 文 (滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 准教授)
- 研究協力者 近藤 慶子 (滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 助教)
- 研究協力者 佐田みずき (慶応義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室 助教)
- 研究協力者 岡見 雪子 (滋賀医科大学博士課程教育リーディングプログラム 特任助教)
- 研究協力者 山内 宏美 (滋賀医科大学博士課程教育リーディングプログラム 大学院生)
- 研究協力者 瀬川 裕佳 (滋賀医科大学博士課程教育リーディングプログラム 大学院生)
- 研究協力者 北岡かおり (滋賀医科大学博士課程教育リーディングプログラム 大学院生)

【目的】

過去 20 年間の国民健康・栄養調査の推移解析により、国民の生活習慣病リスク要因の変化、地域格差・世代間格差の要因を明らかにし、生活習慣病予防のための最新の優先的課題を明らかにする。

【対象と方法】

1995 年以降、約 20 年間の国民栄養調査、国民健康・栄養調査データの利用申請を行って分析データベースを構築し、国民における各種リスク要因、生活習慣の推移とその関連要因の解析を行う。また地域格差、世代間格差とその変化の解析を行う。

分析対象者数を確保するため、平成 24(2012)年、28(2016)年以外については、3 年分をまとめて分析することも考慮する。

分析予定課題：

- 1) 栄養素別・食品群別摂取量
- 2) 生活習慣 (喫煙、飲酒、歩数および運動習慣)
- 3) 身体計測値 (BMI、腹囲、血圧)
- 4) 血液検査結果 (総コレステロール、HbA1c)
- 5) 高血圧、糖尿病、脂質異常症の有病率、治療率、管理率

これらのテーマについて世代別 (コホート効果) の分析を行うとともに、関連要因として喫煙習慣の有無別や単位区が含まれる市町村の人口規模別、さらに平均寿命で分類した都道府県別に約 20 年間の推移を検討する。

